



京都発 環境教育プログラム「こどもエコライフチャレンジ」

～マレーシアでも京都市の取組が実践されています！～

京都市では、平成17年度から、地球温暖化対策を家庭からも着実に進めるための取組として、子ども版環境家計簿を家族で活用いただく「こどもエコライフチャレンジ推進事業」を実施しています。

将来を担う子ども達が、地球環境に対する理解を深めるとともに、夏休みや冬休みの期間中に、御家族や友達と相談しながら、子ども向けの環境家計簿である「こどもエコライフチャレンジ」に取り組みます。

それにより、子どもの視点からライフスタイルを見直し、省エネルギーをはじめとする「環境に配慮した生活」（エコライフ）を実践しています。（全市立小学校で実施）

1 活動内容

(1) 夏休み前・冬休み前

各学校において、地球温暖化の現状等をスクリーンに映し出して、子ども達に分かりやすく解説。子ども達へのインタビューを交えた地球温暖化に関する「3択クイズラリー」等を通して、楽しい雰囲気の中で、地球温暖化防止の大切さや家庭でのエコライフの実践方法について学習します。



(夏休み前の授業)



(夏休み後の発表会)

(2) 夏休み中・冬休み中

各家庭で、子ども達がエアコン、テレビなど電化製品の省エネをはじめ、マイバッグの持参、自転車の利用など、様々な生活場面で身近なエコライフにチャレンジ。その結果を子ども版環境家計簿「こどもエコライフチャレンジ」に記入します。

(3) 夏休み後・冬休み後

夏休みに取り組んだ結果をもとに作成した「エコライフ診断書」を用い、ワークショップ形式で、エコライフを続けるコツをわかりやすく学び、子ども達の地球温暖化防止に向けた取組の定着を図ります。

2 マレーシア版「こどもエコライフチャレンジ」

マレーシアのジョホール州イスカンダル開発地域（面積 2217k m²、人口 140 万人）は、2025 年までに 2005 年比で約 40%の温室効果ガス削減を目標に掲げ、環境保全と経済成長の両立を目指す経済特区であり、低炭素社会の実現に向けた事業が、日本の研究機関も参加して進められています。

同地域では、こどもの視点から家庭のライフスタイルを見直すため、京都市立の全小学校（概ね 4 年生が対象）で実施している環境教育プログラム「こどもエコライフチャレンジ」を基にして、マレーシア版「こどもエコライフチャレンジ」が開発され、本年 9 月から 11 月まで現地の小学校 23 校でモデル実施されました。

イスカンダル開発地域では、今年度のモデル実施の結果を踏まえ、2014 年度には 80 校で、2015 年度には全小学校（198 校）で実施する計画となっています。

本件に関するお問合せ先

京都市環境政策局地球温暖化対策室 担当:中谷、山下
電話:075-222-4555 FAX:075-211-9286

E-Mail: ge@city.kyoto.jp